

# 集中治療室における 2019 新型コロナウイルス（COVID-19）による急性呼吸不全の実態調査

2020 年から 2022 年までに新型コロナウイルス感染症に伴う急性呼吸不全のために集中治療を受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「集中治療室における 2019 新型コロナウイルス（COVID-19）による急性呼吸不全の実態調査」という研究を行います。この研究は、2020 年 6 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院 外科系集中治療室または高度救命救急センターにて、新型コロナウイルス感染症による急性呼吸不全のために集中治療を受けられた患者さんの臨床経過を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

## （1）研究の概要について

研究課題名：集中治療室における 2019 新型コロナウイルス（COVID-19）による急性呼吸不全の実態調査

研究期間：研究実施許可日～2022 年 3 月 31 日

研究責任者：日本医科大学付属病院 外科系集中治療科 市場 晋吾

## （2）研究の意義、目的について

新型コロナウイルスに伴う急性呼吸不全の患者さんは、しばしば人工呼吸器による呼吸補助を必要とし、さらに重度の呼吸不全の場合、体外式膜型人工肺（ExtraCorporeal Membrane Oxygenation: 以下 ECMO）と呼ばれる高度で侵襲的な呼吸補助法が必要になります。今日まで、このような重症患者、特に人工呼吸器や ECMO を要した患者さんの臨床像についての詳しい情報はほとんどありません。

本研究では、世界中の多数の施設と共同で、これらの患者さんの臨床的特徴、臨床経過、転帰などの診療情報を集積し、データ解析をします。それによって、重症化の予測因子の解明、治療効果の可能性のある治療戦略の考案などを通して SARS-CoV-2 による急性呼吸不全患者の救命率改善・予後向上に貢献することを目的とします。

## （3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2020 年 6 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までに、日本医科大学付属病院外科系集中治療科あるいは高度救命救急センターにて、集中治療を受けられた、新型コロナウイルス感染に伴う急性呼吸不全の患者さんの臨床的特徴、臨床経過、転帰などの診療情報を電子カルテから拾い、中央データセンターに登録します。世界中から集積されたデータを統計解析して、SARS-CoV-2 感染の重症患者の臨床的特徴や治療法についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：基礎情報や医療背景、呼吸状態と呼吸補助法、ECMO 治療の臨床的および管理の特徴や、有害事象、生命維持装置の離脱、生存退院率等。

## （4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

## （5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

## （6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 外科系集中治療科 臨床教授 市場 晋吾

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27520

メールアドレス : shingo-ichiba@nms.ac.jp